



# やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 夏目雅康 幹事 / 高桑 耐 会報委員長 / 鈴木啓仁  
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

## クラブテーマ：有意義で楽しいクラブ活動・例会を考えよう

本年度第32回 通算1194回 平成23年3月8日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	2/20 修正出席率
		58名	36名	80%	94.6%

ゲスト：ひまわり農業協同組合 常勤監事 堤保さん 監査室長 杉山勝美さん 総合企画部長 竹内康浩さん  
総務部長 吉村正則さん 金融共済部長 梅田喜嗣さん ビジター：メイクアップ受付17名

### 会長挨拶及び報告

#### 夏目雅康会長



こんにちは。今日は職場例会ということで、昨年完成したばかりのひまわり農協本店さんで例会を開催させていただきます。柴田

組合長さん、藤原常務さんには大変お世話になります。ありがとうございます。

最近、TPPの問題などいろいろ話題となっています。私たちも無関心ではられない状況となっています。後ほど、組合長からこの件のお話も伺えると思います。

3月5日に新世代委員会で支援した豊川駅伝カーニバルが豊川赤塚山公園で開催されました。当日はTASCも大会応援ということで、私も小学生の応援をしに会場へ参りました。天候に恵まれて和やかな雰囲気小学生の駅伝が行われ、元気をもらって帰ってまいりました。今後もこの大会が継続できるように、我がクラブとして支援ができれば良いと思いました。

### 幹事報告

#### 高桑 耐幹事

例会臨時変更のお知らせ  
次回の合同例会について

### 職場見学例会

### 委員長あいさつ

#### 大島嗣雄委員長

こんにちは。前回の担当例会は、職業奉仕についての「職業理念について」の卓話をさせていただきます。今回は、ひまわり農協さん

の新社屋が完成されたので、職場見学例会をさせていただきました。農協の皆様には大変お世話になります。ありがとうございます。

ひまわり農協さんの事業は多岐にわたっています。パンフレットにもありますように、多種多様なサービスを提供されています。

私としては、長年、地域の合併問題に携わっていたので、県下で最初に合併をされた農協であり、今から20年も前に、この地域の一体感を調整をされ、先見の目があり、リーダーの方々の熱い思いがあったと思っています。

本日は、農協さんの業務、新社屋の見学、最新の業務体制など見学させていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 組合長あいさつ

#### 柴田勝組合長



こんにちは。本日は、我が農協で豊川宝飯RCの例会を開催頂きましてありがとうございます。日ごろは、会員の皆様方には、農協に対してご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

農協は、組合員の営農と生活に対する支援をさせて頂いております。詳しい業務は後ほど説明します。

全国に農協は715農協あります。貯金高は86兆円ほどになります。そして愛知県は約6兆9千億円です。県内は20農協あります。我が農協は真ん中くらいで、全国では77番目になります。

ひまわり農協は昨年度、設立して20年を迎

えました。組合員の数も設立当時は1万1千人でしたが、現在は2万6千人の組合員です。お陰さまで組合員が増えておる状況です。ですが、デフレ経済で農畜産物が売れない状況などで、農畜産物の販売額は10年前より下がっております。

この「笑味ちゃんバッジ」は、食の安全プロジェクトのキャラクターです。食の安全安心、地産地消を推進するバッジです。日本の食料自給率は40%です。TPPの話が出ましたが、工業界は歓迎されているかもしれませんが、農業界としては、食料も完全自由化にすると自給率が13%ぐらいになる予測がされています。米の関税率が77.8%で、これが0%になったときアメリカからカリフォルニア米が60kgが3000~4000円で市販される状況になります。採算が合わなくなるから日本でお米を作らなくなります。野菜もすべて同じ状況になり、農家は作物を作らなくなり、耕作放棄地が今以上に増えることになることを心配しております。TPPの問題は、農業だけでなく、医療、労働者等の問題もありますので、全体で研究をして考えていただきたいと思っています。

この演台の横の花は、ひまわり農協の花です。まもなくホワイトデーが近づいてきます。バレンタインのお返しとして、ホワイトフラワーデーとPRをしていますので、是非お花をプレゼントにご利用下さい。

ロータリーは「奉仕の理想」の精神。農協は「相互扶助」の精神。どちらも合い通じるところがあるのかなと思います。本日はありがとうございました。

## 農協の業務説明

### 吉村正則総務部長



こんにちは。JAの業務等をご説明させていただきます。この新本店は10月にオープンして半年になります。親しみのもてる明

るイメージをモットーに地域の方々に信頼されるJAを目指しています。この建物は環境にも配慮して壁面緑化、太陽光パネルを設置して、自然に優しい建物として本店を建設しました。

JAは、存在理念、経営理念、行動理念をモットーに地域に最大奉仕を目指しています。

長期基本構想を立てて事業を進めています。基本の目標は「あなたの身近にベストなひまわり」として、信頼できるJAでありたいと思っています。管内の農業の概要は、配布の資料をご覧ください。

営農部門は、産地ブランド化による有利販売、生産者組織の育成支援、環境保全に配慮した持続的な農業の推進を3本の柱としております。

グリーンセンター・産直ひろばは、賛同する女性組合員の運営委員会で運営されており、グリーンセンターが豊川、一宮、音羽の3店舗。産直ひろばが中部、一宮、小坂井、御津の4店舗あります。

生活部門は、介護福祉事業、趣味やスポーツなどの文化活動、安定した燃料供給サービス、葬祭事業サービスなど行っています。

資産管理部門は、資産の形成と活動を総合的に支援するということで、融資、年金相談、不動産活用、事故対応など組合員のニーズにあったサービスを行っています。

昨年4月より県下で1番にポイントカード制度を勧めています。皆様方もお作りすることができますので、是非、会員としてご入会頂きご利用頂きたいと思っております。ポイント制度だけでなく、組合員加入も是非お願いします。今後ともひまわり農協をよろしく願います。

## 館内の見学



会報担当者：鈴木啓仁会員、土井昌司会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。